

# エコライフ・フェア 2015 開催の基本的な方針

環境省

## 1. エコライフ・フェアとは

エコライフ・フェアは、毎年6月の環境月間に全国各地で展開される様々な行事の中の主たる行事の一つとして、1990年以來、環境省、関係地方公共団体、関連法人、業界団体、企業及びNGOが連携し実施してきました。ここ数年は、環境の日（6月5日）前後の土曜日、日曜日の2日間、東京・渋谷の代々木公園ケヤキ並木・イベント広場を会場に開催しています。

今年のエコライフ・フェアでは、2020年以降の新たな国際的枠組みの合意を目指すCOP21を年末に控え、低炭素社会の実現に向けて期待されるライフスタイル（住宅、車、機器、服装、電気の選択など）について、参加者が自ら考え、選択するきっかけ作りの場を目指します。また、温暖化の影響を軽減する適応計画の策定を夏に控え、昨年IPCC第5次報告書による人類への警鐘を改めて発信し、気候変動が進行した将来の日本への影響と適応策を考える機会を提供いたします。

生物多様性については、2011～2020年の世界目標（愛知目標）の中間年を迎え、日本の現状を発信するとともに、地方の人口減少・高齢化により失われつつある、“森里川海”の恵を守るため、きめ細やかな管理の必要性を考える機会を提供します。また、生態系や農林業に深刻な被害を及ぼす野生鳥獣の適正な保護・管理や、ペットの適正な管理に関する国民の理解と協力を深める場を目指します。

さらに、循環型社会の形成に向けて、発生抑制・再使用・リサイクルへの協力を発信してまいります。

そして、東日本大震災から4年余が経過する中、被災地の復旧・復興を支援する機会を引き続き提供するとともに、放射性物質による健康影響に関する風評被害の払拭や、復興への取組の加速を訴えてまいります。

## 2. エコライフ・フェア2015開催の基本コンセプト

環境問題に一定の関心や潜在的な関心がある家族・友人グループ・個人が、科学的な知見の学習や楽しく体験することを通じて、環境問題への関心を高め、行動に移すきっかけを提供する、持続可能な開発のための教育（ESD）の絶好の機会とします。

その際、以下の事項を踏まえることとします。

- ・「低炭素社会」「自然共生社会」「循環型社会」「東日本大震災からの復旧復興」等を始めとした環境問題について「気づき」から「行動」へと導く。特に持続可能な社会づくりに求められるライフスタイルの見直し等の行動を、より一層促進させることをめざすものとする。
- ・環境省、企業、NGO、マスコミ、研究機関などが協力・連携して実施する。

- ・実施・運営に当たっては、環境への負荷をできる限り低減するとともに、環境への負荷をオフセットすることを積極的に試みる。

以上を踏まえて、参加者が創意工夫し、柔軟に参加できるフェアとするため、今年  
は以下のテーマを定め、実施します。

今年のテーマ：「この美しい地球を守りたい」

### 3 . 開催概要

タイトル エコライフ・フェア2015

開催期日 平成27年6月6日(土)、7日(日)

会場 代々木公園 ケヤキ並木(NHKホール前)/イベント広場

主催 環境省

共催(予定)渋谷区

後援(予定)文部科学省、経済産業省、国土交通省、農林水産省、観光庁、東京都、  
渋谷区教育委員会、(一社)日本新聞協会、(一社)日本民間放送連盟

協力(予定)日本百貨店協会、日本チェーンストア協会、日本生活協同組合連合会、  
東京都生活協同組合連合会、京王電鉄(株)、グリーン購入ネットワ  
ーク、(株)エフエム東京、エコ・ファースト推進協議会

予想入場者数 8万人

入場料 無 料

### 4 . 内容

#### (1) 会場の構成

企業・NGO等の出展と、主催者企画(出展及びステージ)から構成します。そ  
の際、フェアの基本コンセプトにあうような出展内容となるよう、各出展者に検討  
を依頼します。

展示内容は、「低炭素社会」「自然共生社会」「循環型社会」「東日本大震災からの復旧復興」に焦点を当てるとともに、環境問題について身近な視点から理解でき、政策や一人一人がとるべき取組をわかりやすく解説するような企画、展示等を行います。

実施・運営に当たっては、環境への負荷をできる限り回避・低減します。

## (2) 構想している出展内容

### 出展エリア

低炭素社会、自然共生社会、循環型社会、東日本大震災からの復旧復興について、最新の科学的知見や、国内での各主体による取組の推進、国際的な連携などを紹介し、各主体が協力して、人々の生活様式や経済社会活動全体を環境にやさしいものとし、ひいては持続可能な社会作りへの取組につながるような企画を重視します。

### ステージ

一般の来場者にわかりやすくエコライフを伝えるために、著名人のトークショーやコンサートなどを行い、より身近に環境問題を考えるきっかけづくりの場や、より関心のある層向けに、理解を深める内容で構成します。

### 飲食物の販売エリア

ご家族づれの方々にも楽しんでいただけるよう、飲食物の販売コーナーを設けます。素材からエコロジーの意識を持ってもらうオーガニック系の素材を中心とした飲食の提供を行う予定です。また、洗浄カーを準備し、リユース食器、リユースカップを使用し、来場者が洗浄、返却するディッシュ・リユースのシステムの実践など、エコライフ・フェアの名にふさわしいものにします。

## 5 . その他

### (1) 留意事項

エコライフ・フェアの目的、基本コンセプトの達成度合いを把握し、より効率的な実施を図るため、来場者アンケート等を通じて、来場者数、来場者の性別・年齢・職業等を調査、集計します。

### (2) 環境配慮

エコライフ・フェアの実施、運営に当たっては廃棄物の発生を最小限にとどめ、また、発生した廃棄物は、可能な限りリサイクルに回す。また、グリーン電力の利用など環境に配慮した取り組みを実施します。